

# 環境手帳

宇美川と多々良川の合流部にすむ生き物



クロツラヘラサギ

平成17年3月

福岡県福岡土木事務所

## はじめに

この手帳は、宇美川と多々良川の合流部及びその周辺に生育・生息する植物や動物の保護を図る目的で作成しました。みなさんの自然への配慮が地域の自然環境の保全、保護の第一歩となります。豊かな自然環境を次代の人々に継承しましょう。



(上写真)箱崎中学校前から宇美川大橋を見る

(右写真)  
ゴミのように見える小さな点は  
すべてカニ



1

## 現場作業時の注意事項

ヨシは生き物の重要な生活の場所です。踏み荒らしたりしないようにして下さい。



重要な植物や動物が成育・生息している場所は保全区域として設定し、ロープ等を張って立ち入らないようにして下さい。



改変区域に生き物がいた場合、できる限り安全な場所へ移動させて下さい。



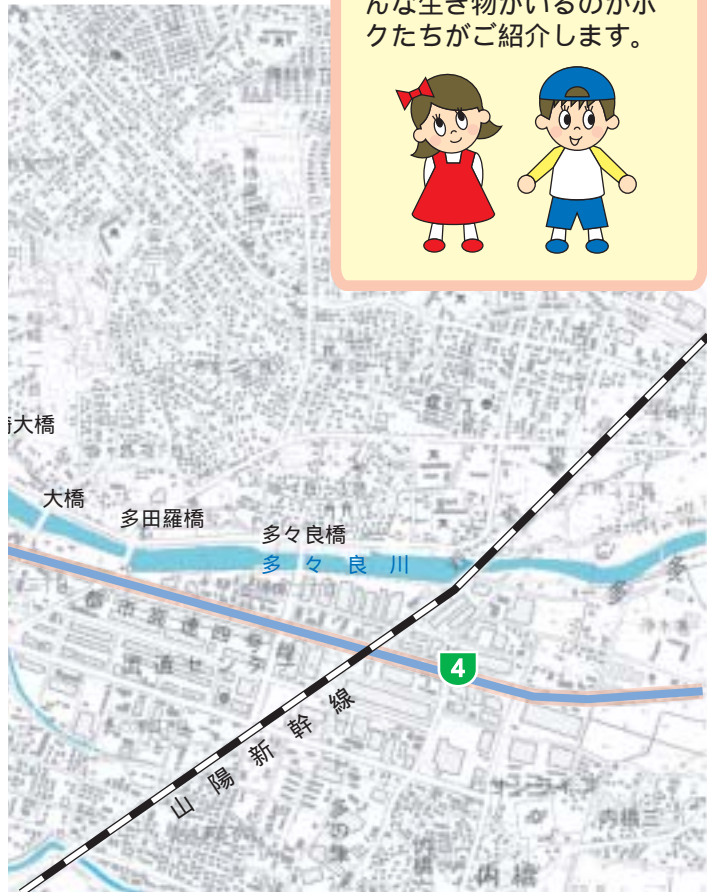
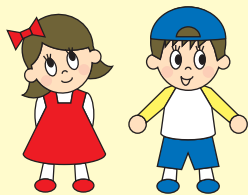
2

## 宇美川と多々良川の合流部(平面図)



3

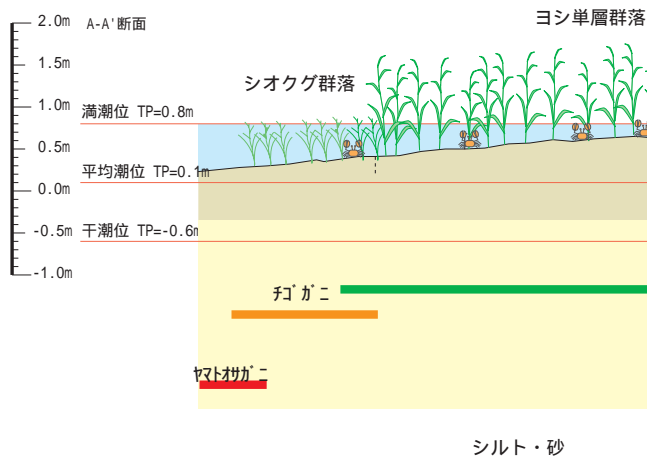
宇美川と多々良川にはどんな生き物がいるのかおうちがご紹介いたします。



## カニの横断分布(A-A断面)

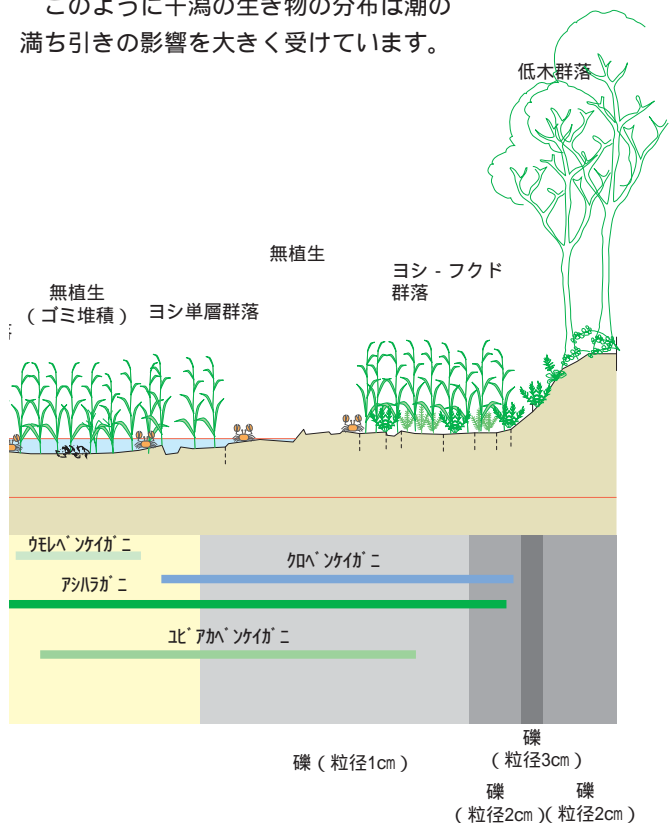
宇美川と多々良川合流部には約20種類のカニが生息していますが、それぞれ好んですむ場所が違います。

例えば、ヤマトオサガニは平均潮位付近の低いどろどろの干潟にすみ、チゴガニは砂泥の干潟にすんでいます。またアシハラガニやクロベンケイガニは満潮位付近のヨシ群落の中にすんでいます。



植物は満潮位付近にヨシが生え、平均潮位付近にシオクグが分布します。

このように干潟の生き物の分布は潮の満ち引きの影響を大きく受けています。



## 目次

	重要な種		一般的な種			
	種名	ページ	種名	ページ		
鳥類	01	ヘラサギ	9	09	ダイサギ	13
	02	クロツラヘラサギ	9	10	アサギ	13
	03	ツクシガモ	10	11	マガモ	14
	04	ダイサギ	10	12	ヒトリガモ	14
	05	ホシロコシ	11	13	ハマシギ	15
	06	ズク	11	14	アオアシシギ	15
	07	コアシ	12	15	カケミ	16
	08	オオヨシサリ	12	16	ハケセレイ	16
カニ類	18	ハマガニ	19	26	クロベンケイガニ	23
	19	ウミベンケイガニ	19	27	アシハラガニ	23
	20	ヒメアシハラガニ	20	28	マメコブシガニ	24
	21	ベンケイガニ	20	29	チゴガニ	24
	22	アリアケガニ	21	30	ヤマトオサガニ	25
	23	アリアケモドキ	21			
	24	オサガニ	22			
	25	ハケセンシオマキ	22			
貝類	31	イシマキガイ	26	34	ホリウミナ	28
	32	カサシヨウガイ	26	35	ウミナ	28
	33	オカミガイ	27			
魚類	36	ウサギ	29	41	ギンブナ	33
	37	アユ	29	42	オイカワ	33
	38	メダカ	30	43	ボラ	34
	39	ヒレハゼ	31	44	マハゼ	34
植物	45	キキョウ	35	52	ハマツツ	38
	46	イソハギ	35	53	ヨシ	39
	47	ハマサシ	36	54	シオクグ	39
	48	カヂヤ	36	55	アイアシ群落	40
	49	フクト	37	56	ツルヨシ	40
	50	ウラキ	37			
	51	シバ	38			

# 図鑑のみかた

図鑑には環境省や福岡県のレッドデータブックに記載されている「重要な種」と普通によく見られる「一般的な種」を掲載しています。

図鑑の見方は次のとおりです。



## 重要な種

**01. ヘラサギ**  
環 準絶滅危惧 福 情報不足

冬鳥として渡来する。体は全身白く、くびと足が長い。くちばしはしゃもじ形で、先端は黄色。夏はくびの後ろ側に黄色の飾り羽がでる。クロツラヘラサギとよく似ている。

全長 86 cm 環 準絶滅危惧 福 情報不足

見られる時期  
 春  夏  秋  冬

## 重要な種

**02. クロツラヘラサギ**  
環 絶滅危惧IA類 福 絶滅危惧IA類

冬鳥として渡来する。ヘラサギに似た黒いしゃもじ形のくちばしを持つ。体は全身白く、くびと足は長い。くちばしを水中で左右に振りながら、魚、カニ、貝類を食べる。ヘラサギとよく似ている。

全長 74 cm 環 絶滅危惧IA類 福 絶滅危惧IA類

見られる時期  
 春  夏  秋  冬

## 重要な種

**03. ツクシガモ**  
環 絶滅危惧 B類 福 絶滅危惧 類

11月中旬頃から渡来し、干潟に生息する。くちばしは赤色で、頭とくびは黒色。体は白色で栗色の幅広い帯が背から胸にある。干潟表面をくちばしですくうようにして、貝やゴカイを食べる。

全長 51~56 cm 環 絶滅危惧 B類 福 絶滅危惧 類

見られる時期  
 春  夏  秋  冬

## 重要な種

**04. ダイシャクシギ**  
福 絶滅危惧 類

旅鳥または冬鳥として渡来する。全身うす茶色に、こげ茶色のたてじま模様がある。くちばしは長く下にやや曲がっている。くちばしを泥の中に差し込んでカニ類などを食べる。

全長 50~60 cm 福 絶滅危惧 類

見られる時期  
 春  夏  秋  冬



### クロツラヘラサギとヘラサギの見分け方



クロツラヘラサギとヘラサギは白くて大きなサギで、くちばしがしゃもじ型でよく似ています。一緒に群れでいることも多く、ひとめでは、見分けが付きません。

実は、これらの違いはよく似たくちばしにあります。

ヘラサギのくちばしの先端は黄色っぽいですが、クロツラヘラサギのくちばしは黒く、また目のまわりも黒く囲まれています。

## 重要な種

**05. ホウロクシギ**  
環 絶滅危惧 類 福 絶滅危惧 類

旅鳥として干潟に渡来し、春、秋に見られる。下にやや曲がった長くくちばしを持つ。体は茶色っぽく、全体にこげ茶のしまがある。くちばしを深く泥にさし込み、ゴカイやカニ類を食べる。

全長 53~66 cm 環 絶滅危惧 類 福 絶滅危惧 類

見られる時期  
 春  夏  秋  冬



### 06.ズグロカモメ

環絶滅危惧 類 福絶滅危惧IB類



西日本の干潟に冬鳥として渡来する。体上面は青みがかった灰色で下面は白い。くちばしは黒く短い。足も短く赤みがかった黒。日中、泥の干潟に急降下して、カニやゴカイなどを食べる。

全長 29-32 cm 環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期

秋 冬



### 07.コアジサシ

環絶滅危惧 類 福絶滅危惧 類



夏鳥として渡来し、湖沼や河川の砂浜等で繁殖する。体の上面は青みがかった灰色で下面は白い。頭のてっぺんは黒く、くちばしは黄色で先端は黒。水面の5~7m上空を飛び回り、小魚をとらえる。

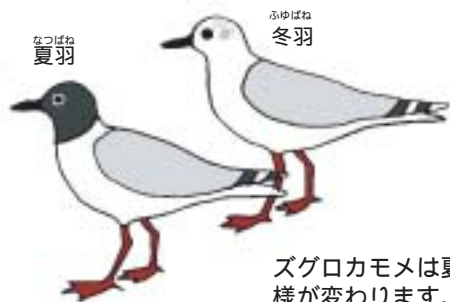
全長 約28 cm 環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋



### ズグロカモメの夏羽と冬羽



ズグロカモメは夏と冬で模様が変わります。夏は黒い帽子をすっぽりかぶっているように見えます。



### 08.オオヨシキリ

福準絶滅危惧



夏鳥として渡来し、ヨシ群落のある海岸、河川敷、湖沼畔などで繁殖する。体の上面は黄みがかったオリーブ色で、下面は薄茶色。茎にとまり昆虫類やカエル等の小動物をつかまえる。

全長 18 cm 福岡県 RED

見られる時期

夏 秋



### 09.ダイサギ



水田や湿地、河口の干潟、浅い池などで生活する。全身白でくちばし、くび、足が長い。静かに浅めの水中を歩いたり、待ち伏せして魚類やカエル、ザリガニなどをとらえる。

全長 約90 cm

見られる時期

春 夏 秋 冬



### 11.マガモ



主に冬鳥として渡来し、湖沼や川などに生息する。オスの頭部はつやのある緑色で、くびに白の細い輪がある。草食性で、地上を歩いて草の実をついばんだり、泳ぎながら水中に首を突っ込んで水草等を食べる。

全長 53-64 cm

見られる時期

春 秋 冬



### 10.アオサギ



大きい川や湖沼、水田、海岸の干潟などの砂や泥の多い水辺に生息する。体は青みがかった灰色でくちばし、くび、足が長い。浅めの水中をゆっくり歩いたり、水辺で待ち伏せして魚や、昆虫、カエルなど食べる。

全長 約93 cm

見られる時期

春 夏 秋 冬



### 12.ヒドリガモ



冬鳥として渡来し、内湾、湖沼、川などに生息する。オスは頭全体が茶色、額から頭頂にかけて黄みがかった白色の線がある。主に植物食で水面のものや水辺の草地のものをついばむ。

全長 43-53 cm

見られる時期

春 秋 冬

一般的な種



### 13. ハマシギ



あゆどり  
冬鳥として干潟に飛来するほか、渡りの時期には海岸や河口の干潟、海に近い水田などでもみられる。水際を歩きながら背を丸めたような格好で、くちばしを下にしたまま、ゴカイ、カニなどを食べる。

全長 21 cm

見られる時期

春 秋 冬

一般的な種



### 15. カワセミ



平地から山地の川、池、湖などの水辺に生息する。背中がコバルトブルー、お腹はオレンジでとても美しく、くちばしが大きい。メスは下くちばしが赤い。水中にダイビングして小魚や水生昆虫、エビなどを捕まえる。

全長 17 cm

見られる時期

春 夏 秋 冬

一般的な種



### 14. アオアシシギ



たびどり  
旅鳥として春秋に渡来し、海岸や河口、干潟、砂浜の水たまり、海岸に近くの水田、湿田、湿地、池や沼などに生息する。浅い水中を活発に歩きながら小魚、水生昆虫、カニ、貝などを食べる。

全長 35 cm

見られる時期

春 秋

一般的な種



### 16. ハクセキレイ



海岸や川の下流、のりこうち農耕地に生息する。オスは、夏は胸と背中が黒色で、冬は背中が灰色になる。顔は白く、黒い過眼線が入る。水辺を活発に歩きながら昆虫などの小動物を捕らえる。

全長 21 cm

見られる時期

春 夏 秋 冬

16

17

一般的な種



### 17. セグロセキレイ



平地から山地の河川、湖沼、のりこうち農耕地などに生息する。背中、首、胸は黒く、喉、額は白い。額から目の上を眉のように白い線が入る。水辺を活発に歩きながら地面をついばんだり、空中に飛び上がって昆虫などを捕らえる。

全長 21 cm

見られる時期

春 夏 秋 冬

重要な種



### 18. ハマガニ

福 準絶滅危惧



こうら甲羅は丸く、真ん中に縦の溝がある。はさみは強大で、こうら甲羅と足は短毛が密生する。汽水の影響を受ける上流側に生息し、近くの水田の土手に大きな穴を開けることから「土手崩し」とも呼ばれる。

甲羅の幅 4.8 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋



### セキレイの見分け方



セグロセキレイ  
白と黒の鳥で、額と眉は白く、背中と胸は黒い。



ハクセキレイ  
額とほおは白く、背中と胸は灰色。



キセキレイ  
眉は白く、背中と胸は灰色、お腹は黄色。

18

重要な種



### 19. ウモレベンケイガニ

福 準絶滅危惧



こうら甲羅の表面は凸凹で、でこぼこ全体に黒い短い毛でおおわれて、足先は鋭くとがる。ヨシ群落の周辺の砂礫質の小石の下に生息する。つかまえてもほとんど動かない。

甲羅の幅 1.7 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋

19

重要な種



20. ヒメアシハラガニ

福 準絶滅危惧



アシハラガニに似ているが、大きさや眼の下の顆粒数や、砂泥地には生息しないことで区別できる。河口のヨシ群落の中や、海浜植物の近くに生息する。

甲羅の幅 2 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋

重要な種



22. アリアケガニ

福 絶滅危惧



甲羅は横に長い丸みのある四角形で、色は灰色。あしの先端部は赤みをおびる。甲羅とあしの背面の大部分が黒い毛に覆われている。捕まえようとすると硬直して死んだふりをする。河口域の泥干潟に穴を掘って生活する。

甲羅の幅 2 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋

重要な種



21. ベンケイガニ

福 絶滅危惧



甲羅は四角形で赤く、はさみも赤い。河口のヨシ群落上部の土手に穴を掘ってすんでいる。

甲羅の幅 3 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋

重要な種



23. アリアケモドキ

福 絶滅危惧



甲羅は横に長い六角形で、色は黒っぽい茶色。甲羅は中央を横切るように盛り上がっている。あしは一番目のものを除き黒い毛に覆われている。干潟の泥の中に穴を掘って生活する。

甲羅の幅 1.4 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋

20

21

重要な種



24. オサガニ

福 準絶滅危惧



甲羅は長方形で、はさみが非常に長い。砂泥質の干潟でやや堅く水はけの悪い場所に穴を掘ってすんでいる。ヤマトオサガニに似ている。

甲羅の幅 3.5 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋

一般的な種



26. クロベンケイガニ

甲羅の表面の溝は深く、正方形である。あしは長く剛毛が多数はえる。はさみは強大で顆粒状の凹凸がある。水辺の陸上に穴を掘ってすんでいる。



甲羅の幅 3.2 cm

見られる時期

春 夏 秋

重要な種



25. ハクセンシオマネキ

環 準絶滅危惧 福 準絶滅危惧



甲羅は横長のだ円形で乳白色にセピア色の横しまの斑点がある。オスのはさみは左右どちらかが大きい。潮間帯の上～中部の堅い砂が多い干潟に穴を掘ってすんでいる。

甲羅の幅 1.7 cm

環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋

一般的な種



27. アシハラガニ

甲羅は四角形で灰色がかった緑色である。はさみは強大ですべすべしている。河口域の土質の土手に穴を掘ってすんでいる。



甲羅の幅 3 cm

見られる時期

春 夏 秋

22

23



### 28. マメコブシガニ



甲羅はまん丸で表面は顆粒状の凹凸がある。潮間帯の砂が多い泥に生息する。

甲羅の幅 2.2 cm

見られる時期

春 夏 秋



### 30. ヤマトオサガニ



甲羅は長方形で、潜望鏡のような長い目と特徴的なハサミを持っている。色は灰白色。泥質の泥底に生息し、干潮の時間帯は活動が鈍くなる。オサガニに似ている。

甲羅の幅 2.4 cm

見られる時期

春 夏 秋



### 29. チゴガニ



甲羅は横に長い六角形で短毛が粗くはえる。腹側はコバルトブルーである。はさみは白く、上下に振る。河口の砂が多い干潟に多く、干潮時は休みなく採餌活動を続ける。

甲羅の幅 0.7 cm

見られる時期

春 夏 秋



### オサガニとヤマトオサガニの見分け方



オサガニ



ヤマトオサガニ

オサガニとヤマトオサガニはよく似ています。

違いはオサガニの方が甲羅の横幅が広く、はさみが閉じたときに丸い空間ができることです。

一方、ヤマトオサガニのはさみはぴったりと閉じます。



### 31. イシマキガイ

福 絶滅危惧 類



殻は球形で、茶色のマキガイで。河口からややさかのぼった川岸や、川の中の石の側面に付着している。

大きさ 2.5 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋



### 33. オカミミガイ

福 絶滅危惧 類



殻はだ円形で、厚みがある。河口付近のヨシ群落の根元や泥の上や中に生息する。貝の入口には他の貝のようなフタはない。

大きさ 3.4 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋



### 32. カワザンショウガイ

福 準絶滅危惧



殻は円すい形で、小型の貝で。黄色がかった茶色に濃い茶色のしま模様が入る。河口付近のヨシ群落の中に生息する。

大きさ 0.8 cm

福岡県 RED

見られる時期

春 夏 秋



### ウミニナとオカミミガイの見分け方

ウミニナとオカミミガイの違いは、貝の入口にあります。ウミニナは入口をぴったりふさぐフタがありますが、オカミミガイにはありません。



ウミニナ  
ホソウミニナ



オカミミガイ

フタがある。


フタがない。

**34. ホソウミニナ**

殻は細い円すい形の巻き貝で、潮が引いたときにはホソウミニナのはった跡が見える。

大きさ **2.5 cm**

見られる時期 **春夏秋**




**35. ウミニナ**

殻は中がややふくれた円すい形で、殻の先がやや欠けている。殻の表は細かい石畳状で、河口の干潟を中心とした内湾の干潟や潮間帯の砂泥上に生息する。

大きさ **3.5 cm**

見られる時期 **春夏秋**



**36. ウナギ**

福 準絶滅危惧

全体に茶褐色から黒色で、お腹は白っぽいヌルヌルした魚。河川の中・下流域や河口域、湖に生息している。日中は土手の穴や泥の中などに潜み、夜になると活動する。水生昆虫、小魚、貝類、エビ類、カエルなどを食べる。成長すると海に下って産卵する。

大きさ **100 cm** 福 岡 県 **RED**

見られる時期 **春夏秋**




**37. アユ**

福 天然不明

背中が青みがかったオリブ色で、お腹は銀白色。胸びれの上によく目立つ長方形の黄色の斑がある。春から秋にかけて主に川の中流域の岩盤や石礫のあるところで生活するが、孵化した仔魚は秋には海に下る。岩盤などに付着した藻類を食べる。

大きさ **10~30 cm** 福 岡 県 **RED**

見られる時期 **春夏秋**



**38. メダカ**

環 絶滅危惧 類 福 準絶滅危惧

平地の池や沼、水田、河川の下流域の流れのゆるいところで生活する。昼間に岸边近くの浅いところで、水面付近を群れていることが多い。植物プランクトンや動物プランクトン、小さな落下昆虫などを食べる。

大きさ **3 cm** 環 境 省 **RED** 福 岡 県 **RED**

見られる時期 **春夏秋**



**39. トビハゼ**

福 絶滅危惧 Ⅰ B 類

干潟の泥の上を胸びれを使いながら歩き回ったり、尾をバネにジャンプする。小さな藻類やゴカイなど食べる。潮が満ちてくると岸边の石や木などにはい上がっていく。主に空気呼吸を行い、皮膚から酸素を補給する。

大きさ **10 cm** 福 岡 県 **RED**

見られる時期 **春夏秋**




**40. シロウオ**

環 準絶滅危惧 福 準絶滅危惧

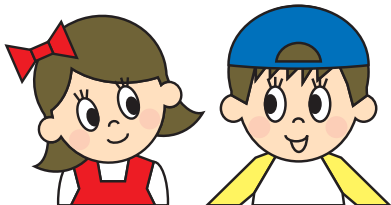
体が細く半透明で浮き袋などが透けて見える。春になると海から下流域へ産卵のために上ってきて、産卵が終わると死んでしまう。孵化した仔魚は海に下って沿岸域で生活し成長する。

大きさ **5 cm** 環 境 省 **RED** 福 岡 県 **RED**

見られる時期 **春**



宇美川にはたくさんの生き物がすんでるんだね。





## トビハゼの観察

トビハゼは、大変かわいらしい魚で常に動いています。双眼鏡でのぞいてトビハゼの行動を観察してみましょう



水面をびよんびよん飛びます。

なわばりを持つため、ひれを広げて威嚇します。

泥の上をひれで歩いたり、ジャンプしたりします。

垂直な木や石に登ります。

巣穴を掘ります。



## シロウオがすめる川って？

シロウオは産卵のために早春に川をのぼってくるため、「春を告げる魚」として有名です。

川にのぼってきたオスは、流れのゆるやかな場所を探し、石の下に穴を掘って巣を作ります。巣ができるとオスはメスを誘い、巣の中で2~3週間経過します。その後、産卵を終えたメスは巣からはなれ、死んでしまいますが、オスは卵がかえるまで巣を守ります。この間、他の魚が入ってこないように入口を閉じてしまうため、巣の中の酸素量は少なくなってしまいます。この時、巣がある川底にシルトやゴミなどが堆積してしまうと、いよいよ酸素が不足し、シロウオも卵も死んでしまいます。

産卵場となる下流域の汚濁や河川形態の変化はシロウオにとっては大変重要なのです。

32

一般的な種



## 41. ギンブナ



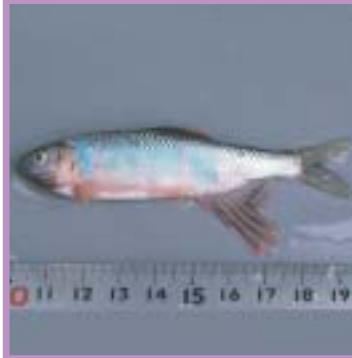
大きさ  
25  
cm

見られる時期

春夏秋冬



## 42. オイカワ



大きさ  
15  
cm

見られる時期

春夏秋冬

33

一般的な種



## 43. ボラ



背中が青っぽい灰色、お腹が銀白色で、体の側面に数本の縦じまがある。頭のとっぺんが広く目が大きい汽水域に生息し、主に付着藻類やデトリタス(プランクトンの死骸やその分解物など)、ゴカイなどを食べる。

大きさ  
25~50  
cm

見られる時期

春夏秋冬

一般的な種



## 44. マハゼ



全体的に淡い褐色で、体の側面に不規則な黒い斑が並ぶハゼの仲間。汽水域や内湾の砂泥底に生息する。主にゴカイ類を餌としているが、小魚や藻類も食べる。

大きさ  
13~25  
cm

見られる時期

春夏秋冬

34

重要な種



## 45. コギシギシ

環絶滅危惧類 福絶滅危惧類



乾いた草地や畑地、水田、川岸などに生育する多年草。葉は長さ4~6cm、裏面は無毛。花期5~8月。淡い緑色の小さな花を多数つける。花被にはとげ状の突起がある。

高さ  
30~50  
cm

環境省  
RED  
福岡県  
RED

見られる時期

春夏秋

重要な種



## 46. イソホウキギ

福絶滅危惧類



海岸の湿った砂地に生育する一年草。茎は根元より多くの枝を張って広がり、若い枝には茶色の毛がある。花期は10~11月。

高さ  
30~100  
cm

福岡県  
RED

見られる時期

春夏秋

35

重要な種

**47. ハマサジ**  
 絶滅危惧類 (福) 絶滅危惧類




海岸の砂地に生育する二年草。葉は根元に集中し8~17cmの長い円形で厚くて光沢がある。花びらのような葉がさじに似ていて浜に生えることからハマサジの名前がつけられた。花期は9~11月。

高さ 30~50 cm  
 環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期  
 春 夏 秋

重要な種

**49. フクド**  
 絶滅危惧類 (福) 絶滅危惧類



河口の泥湿地に生育する越年草。茎と葉は白っぽい緑色。葉は質が厚く、細く枝分かれする。ヨモギに似ていることからハマヨモギの別名がある。全体に特殊な香りがある。花期は9~10月。花が咲くと枯れてしまう。

高さ 30~50 cm  
 環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期  
 春 夏 秋

重要な種

**48. カワヂシャ**  
 準絶滅危惧類 (福) 準絶滅危惧類



水辺や水田などに生育する越年草。茎は直立し無毛でやわらかく、淡緑色をしている。葉は細長く、縁に細かな鋸歯がある。花期は5~8月。花は白色で淡紫色のすじがある。

高さ 20~50 cm  
 環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期  
 春 夏 秋

重要な種

**50. ウラギク**  
 絶滅危惧類 (福) 絶滅危惧類



河口などの汽水域の塩性湿地に生育する二年草。茎の高さは時に1m近くに達し、無毛。葉は細長く、肉質で無毛。花期は8~11月。花びらは細長く青紫色である。

高さ 25~55 cm  
 環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期  
 春 夏 秋

重要な種

**51. シバナ**  
 絶滅危惧類 (福) 絶滅危惧類




河口や干潟の塩分を含む湿地などに生育する多年草。葉は根元から生え、断面は半円形。花期は5~10月。直立した茎の上部に多数の小さな花をつける。

高さ 15~50 cm  
 環境省 RED 福岡県 RED

見られる時期  
 春 夏 秋

一般的な種

**53. ヨシ**




池や沼、川岸などの水域や湿地に生育する多年草。太い地下茎をはりめぐらし群落を形成する。茎は多数の節があり堅い。小さな生物のすみかになる。

高さ 1~3 m

見られる時期  
 春 夏 秋

一般的な種

**52. ハママツナ**




暖地の海岸の砂地に生育する一年草。葉は細長くて先はとがる。花期は9~10月。花は1~5個が葉のつけ根にかたまる。秋には全体が赤く紅葉する。

高さ 20~60 cm

見られる時期  
 春 夏 秋

一般的な種

**54. シオクグ**



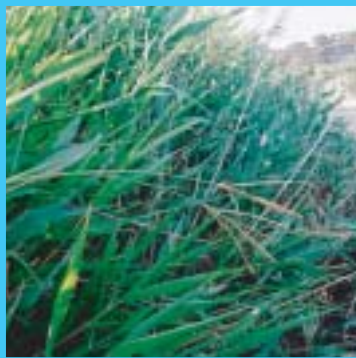
河口域や泥質の塩性湿地に生育する多年草。根茎は地下をほう。葉は細長く、こい緑色。花期は6~7月。

高さ 30~60 cm

見られる時期  
 春 夏 秋



### 55. アイアシ群落



茎は太く、葉は厚い多年草。ヨシによく似た植物であるが、ヨシは海辺から川、池に至るまで幅広く生えるが、アイアシが生育できるのは海辺に限られている。

高さ  
80~120  
cm

見られる時期

春 夏 秋

一般的な種



### 56. ツルヨシ



川岸や砂質地、川の縁などに群生する多年草。ヨシによく似ているが、地表をうはうほふく枝(ランナー)で増える。花期は8~10月。

高さ  
1.5~2  
m

見られる時期

春 夏 秋

40



### いちねんそう たねんそう 一年草と多年草

一年草は種から発芽して成長し、花が咲いて種を落とすと枯れて死んでしまいます。一方、多年草は冬には葉が枯れてしましますが、根っこはちゃんと生きていて、春になると新芽が出てきます。

いちねんそう  
一年草



たねんそう  
多年草



### ツルヨシとヨシの違い



ツルヨシは地の表面をうはうほふくランナーという茎を伸ばしてひろがり、主に川の中流から上流に生えます。



一方、ヨシは地下茎と呼ばれる茎を地面の下に張り巡らせてひろがり、主に川の下流から中流に生えます。宇美川・多々良川の合流部周辺はヨシが分布しています。

41

## ヨシ群落の保全について

日本の河川では普通に見られるヨシ群落は、そこで生活する生物にとって、大変重要な役割を果たしていることをご存知ですか？

干潟におけるヨシ群落は、カニや貝類、あるいはオオヨシキリなどの重要な鳥類の生活の場として利用されています。また、生物に生活の場を提供するだけでなく、ヨシの根元に付着する微生物による有機物の分解や、ヨシの栄養塩吸収により水質浄化にも役立っています。

このようなヨシ群落の機能に着目し、現在、日本各地でヨシ群落の保全が行われています。



多々良川右岸から見た合流部の中州にあるヨシ群落

42

## (参考)環境省レッドデータブックのカテゴリー定義

- 絶滅(EX) わが国では既に絶滅したと考えられる種
- 野生絶滅(EW) 飼育・栽培下のみで存続している種
- 絶滅危惧 類(CR+EN) 絶滅の危機に瀕している種
- 絶滅危惧 A類(CR) 近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
- 絶滅危惧 B類(EN) IA類程ではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- 絶滅危惧 類(VU) 絶滅の危険性が増大している種
- 準絶滅危惧(NT) 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種
- 情報不足(DD) 評価するだけの情報が不足している種
- 絶滅のおそれのある地域個体群(LP) 地域的に孤立している個体群で絶滅のおそれが高いもの

文献名

- ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 1哺乳類(環境省/平成14年)」
- ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 2鳥類(環境省/平成14年)」
- ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 3爬虫類・両生類(環境省/平成12年)」
- ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 4汽水・淡水魚類(環境省/平成15年)」
- ・「環境庁報道発表資料 無脊椎動物(昆虫類、貝類、クモ類、甲殻類等)のレッドリストの見直しについて(環境省 平成12年)」

43

絶滅(EX)  
 わが国では既に絶滅したと考えられる種

野生絶滅(EW)  
 飼育・栽培下のみで存続している種

絶滅危惧 類(CR+EN)  
 絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 A類(CR)  
 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧 B類(EN)  
 IA類程ではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

絶滅危惧 類(VU)  
 絶滅の危険性が増大している種

準絶滅危惧(NT)  
 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種

情報不足(DD)  
 評価するだけの情報が不足している種

絶滅のおそれのある地域個体群(LP)  
 地域的に孤立している個体群で絶滅のおそれが高いもの

植物群落

- 類：緊急に対策必要
- 類：対策必要
- 類：破壊の危惧
- 類：要注意

段階評価

A: 優れる、B: やや優れる、C: 普通、D: やや劣る、E: 劣る

文献名

- ・「福岡県の希少野生生物  
 - 福岡県レッドデータブック2001 - (福岡県/平成13年)」

環境手帳

宇美川と多々良川の合流部にすむ生き物

2005年3月 初版発行

制作・印刷 (株)建設技術研究所

監修 (財)九州環境管理協会  
写真提供

発行 福岡県福岡土木事務所  
〒812-0053  
福岡市東区箱崎1-18-1  
TEL 092-641-0176 FAX 092-632-8677

工事に関するお問い合わせは  
 福岡県福岡土木事務所  
 災害事業室  
 〒812-0053福岡市東区箱崎1-18-1  
**TEL.092-641-0176**  
**FAX.092-632-8677**  
 E-mail : doboku@fukuoka.email.ne.jp

